

日本学術会議 社会学委員会 社会福祉学分科会  
(第24期・第1回)  
議事要旨

1. 日 時

平成30年3月4日(日) 10時～12時30分

2. 場 所

法政大学市ヶ谷キャンパスボアソナードタワー16階 現代福祉学部市ヶ谷実習指導室

3. 出席者

岩崎晋也 金子光一 稲月正 岩永理恵 大和三重 白澤政和 住居広士  
平岡公一 原田正樹 牧里每治 湯澤直美 和気純子 (12名)

4. 配付資料

- ・ 委員名簿
- ・ 第23期提言案

5. 議事

1) 自己紹介

2) 役員選出

委員長 岩崎晋也 副委員長 和気純子 幹事 湯澤直美 岩永理恵

3) 第23期提言案について

- ・ 英国で孤独担当大臣が任命されたことにもふれ、テーマの普遍性を強調すべきである。
- ・ 社会的孤立という用語を用いることで社会構造的側面が明確になる。
- ・ 制度を人にあわせるのではなく、ニーズに制度をあわせる視点が重要。
- ・ 福祉署の提言は評価できる。ただし福祉職のみではなく保健師など他の専門職・専門領域を排除しない方が有効ではないか。
- ・ 社会福祉士が根拠をもって働ける職場が必要である。
- ・ 社会的つながりが弱いことによる社会的損失や回復することの社会的効果についても明記すべき。

4) 第24期で取り組むべきテーマについて

- ・ 学校教育における福祉の教育内容。

- ・人材確保。
- ・教育における国際化。
- ・結論として第24期で取り扱うテーマは子どもたちへの福祉教育の在り方とし、次回委員会では原田委員から福祉教育政策について講義いただく。

以上。